

項目	年度	~2025		~2030	~2050
		短期	中期	長期	
課題名	到達目標等	科学的データ等の獲得に向けた集中期間			凡例
1. 科学的データ等の戦略的獲得と共有領域に関するデータ等の共有	必要なデータ等の取得に向けた環境整備	保安の専門家を交えた主体的な科学的データの取得 ・初期段階からの積極的参加 ・事業者等への科学的データ等の取得要請		事業者等のタスク	国のタスク
	水素の取り扱いに関する知見（安全策、事故の予防措置等）について、得られた情報を積極的に共有	業界団体等内で関係者に共有領域の知見を共有するための環境整備 共有領域の知見共有化に向けた関係者への要請等			
2. 円滑な実験・実証環境の整備	実証実験等の円滑な実施のための環境整備	関係者への実施内容と安全対策にかかる丁寧な説明と、理解と協力の要請			
		予算事業など政策的位置づけのあるものを中心に必要に応じて、施設管理者や自治体等の協力・理解を得るべく、事業者をサポート			
3. SCにおける優先的に取り組む分野の考え方	優先的に取り組む分野の考え方の提示	優先分野の考え方の提示			
4. 今後の道筋の明確化	技術開発・実証段階	詳細基準事前評価制度等の活用			
		詳細基準事前評価制度等の活用促進			
	商用段階	水素ポータルサイトの作成および窓口等の明確化			
		技術基準の共通化			
将来的な保安体系の検討	事業実態や事業規模、現行法令上の課題、国際動向等を注視し、合理的・適正な保安体系を国に提言			将来的な保安体系の確立	
	水素事業の拡大を踏まえた将来的な保安体系の検討				

政策論

項目	年度	~2025	~2030	~2050	
課題名	到達目標等	短期	中期	長期	
政策論	5. 第三者認証機関・検査機関の整備・育成	科学的データ等の獲得に向けた集中期間			
		水素社会を支える第三者認証機関・検査機関の整備・育成	第三者認証機関・検査機関の能力・協力体制の充実にに向けた取り組み（MOU締結等）		
		検査費用や法的権限の整理等			
		ユニット・型式承認制等の導入等に向けた検討			
	6. 地方自治体等との連携	水素社会の実現に向け、都道府県等の法令等の解釈に差異が生じないような仕組みを構築	第三者認証機関・検査機関の活用（再掲）		
			各自治体をサポートする自治体連絡会議の開催		
			技術基準の共通化、法令・関連通達の記載がより明確になるような工夫、逐条解説の整備・普及等を通じたルールの明確化・合理化。		
			水素の専用のポータルサイトを通じた窓口（国・自治体）の一元的な紹介		
	7. リスクコミュニケーション	一般市民等ステークホルダーの理解・協力の獲得	各地域特性も踏まえつつ、消費者・地域住民等に対し、水素の物性や取扱い、安全対策等に対する理解を深めるための情報発信や教育等を推進		
			各地域特性も踏まえつつ、消費者・地域住民等に対し、水素の物性や取扱い、安全対策等に対する理解を深めるための情報発信や教育等を推進		
8. 人材育成	人材プールの形成	安全確保の土台となる人材の育成			
		国内外で水素保安について議論をリードする人材の育成			
		水素人材の確保育成・人材育成支援			
9. 各国動向の把握、規制の調和・国際規格の策定に向けた取組	世界最先端の日本の水素技術による水素社会の実現	バイ・マルチの国際会議への参加や関係構築			
		主要国の動向の把握			
		対象分野の特定			
		水素保安規制の国際調和・国際規格の策定			

凡例

事業者等の
タスク

国のタスク